

決議案第 1 号

令和 5 年第 3 回市議会定例会一般質問における井上恭子議員の発言に対し、
猛省と発言の撤回を求める決議の提出について

上記の決議案を会議規則第 13 条第 1 項の規定により提出する。

令和 5 年 9 月 29 日提出

提出者

常滑市議会議員 加 藤 久 豊

賛成者

常滑市議会議員	岩 崎 忍	常滑市議会議員	肥 田 裕 士
同	西 本 真 樹	同	加 藤 代史子
同	大 川 秀 徳	同	中 村 崇 春
同	伊 奈 利 信	同	森 下 雅 仁
同	齋 田 資	同	坂 本 直 幸
同	稲 葉 民 治	同	相 羽 助 宣
同	伊 藤 史 郎		

提案理由

令和 5 年第 3 回市議会定例会一般質問における井上恭子議員の発言に対し、
猛省と発言の撤回を求めるため。

令和5年第3回市議会定例会一般質問における井上恭子議員の発言に対し、猛省と発言の撤回を求める決議

令和5年第3回市議会定例会一般質問において、新風クラブ井上恭子議員から、オーガニック給食導入に向け、来年度の予算化が求められた。

それに対し教育委員会はオーガニック食材の提供について特に否定しないが、原材料高騰の折、質や量を落とさずに、栄養の確保を維持することを最重要として優先したいと答弁がなされた。

その答弁に対し、井上恭子議員は、子供たちのためになる予算の必要性を唱えた上で、将来的に子供たちの精神、体、心が病んでいるようでは、儲けることも生きることができない子供もできる。食べ物はとても重要なことだと発言し、オーガニック食材の提供について来年度予算で検討するよう再度求めた。

その意見を受け、教育委員会から、決して子供たちが病むような給食は提供していないと再答弁したところ、井上恭子議員からは病むとは言っていない。病む人もある。いろいろそれぞれで、病む人もあると発言された。

令和5年第3回市議会定例会一般質問を映像で確認する限り、学校給食に関連した質疑項目の中で、井上恭子議員からは明らかに「将来的に子供たちの精神、体、心が病んでいるようでは、儲けることもできない。生きていることも出来ない子供もできる。食べ物はとても重要なことだ」と発言があり、その後のやり取りでは、病む人もある。いろいろそれぞれで、病む人もあるとの発言も確認された。

井上恭子議員の提案するオーガニック食材の提供については、否定するものではないが、オーガニック食材の提供に関する予算要求の質疑過程や給食関連の質疑全般の構成からしても、将来的に子供たちの精神、体、心が病むようではとの発言は、明らかに現在の学校給食を指しており、この発言は不適切であると言わざるを得ない。

今回の発言は、学校給食に食材を提供している生産者や納入業者。子供たちの栄養確保を考えている栄養士や共同調理場で働く職員に対し、失礼な発言であり、常滑市の学校給食そのものへの不信を招く発言である。

また、保護者に対し不安をあおるとともに、現在、発達障害による不登校や病気で苦しんでいる児童生徒、献身的に努力している保護者に対しても、無礼であり、許されるものではない。

したがって、新風クラブ井上恭子議員の発言に対し、猛省と発言の撤回を求めるものである。

以上決議する。

令和5年9月29日

愛知県常滑市議会